

2022年10月22日

< 2022年度 知財会総会 >

開催日時 : 2022年10月22日(土) 10:00~11:00

受付 9:30~10:00

開催場所 : 大阪工大1号館 8F 知的財産学部 情報演習室2

次 第

1. 開会の辞 司会者 役員から選出⇒副会長

2. 会長挨拶 会長

3. 議長選出 立候補確認 (候補なしの場合⇒司会者)

4. 会務報告

- 1) 2019~2022年度 活動報告総括 ⇒ 会長
- 2) 2019~2021年度 決算報告 ⇒ 会計
- 3) 2019~2021年度 監査報告 ⇒ 監査役
- 4) 役員交代(全役員留任) ⇒ 会長
- 5) 2022・2023年度運営方針(案) ⇒ 会長
- 6) 2022・2023年度事業計画(案) ⇒ 会長
- 7) 2022年度予算(案) ⇒ 会計

5. その他議案

- 1) 役員交代変更について ⇒ 会長
- 2) 次年度新規会員募集活動について
- 3) 次年度卒業アルバム製作について

6. 閉会の辞 (司会者)

<校友会総会、HCD参加案内>

以上

新入生保護者 各位

大阪工大校友会「知財会」入会のご案内

「知財会」会長
川濱 隆司

ご入学おめでとうございます！今年もまたコロナウイルス対策の為、制限された入学ガイダンスとなりまして、誠に残念ではございますが、書面にてご挨拶を申し上げます。

さて、大阪工業大学 知的財産学部及び知的財産研究科は、2007年3月に第一期生が世に出て以来、2022年3月には第16期生が卒業・修了するにいたります。知的財産学部・研究科において、共に学んだ友、又は先輩・後輩の間の絆を大切にするため、在校生・教員を含む卒業・修了生による同窓会「知財会」が組織されております。

この「知財会」は、2011年1月大阪工業大学校友会の各科同窓会組織として承認され、既に11年を経過して参りました。本来なれば昨年、創設10周年記念でしたが、実施できずに参りました。

「知財会」は、知的財産学部・研究科同窓生の連携と母校学部学科の益々の発展に寄与することを目的とし、所属する工大校友会の一員として、大学の発展に貢献するべく活動を展開して参りました。しかしながら知財会卒業生はまだまだ社会人としては若輩であり、社会に出た彼ら自身がまだ大変な時期でもあり、校友である後輩の為に、例えば就職活動一つでも支援する事は困難な状況にあります。そこで、これを視野に入れた会員相互の協力関係による事業活動をしていくことが肝要です。

理事長先生が語られている通り、大阪工大は「在校生と卒業生の連携が大切である」と「校友会メンバーである先輩諸氏が築き上げた社会的信頼と価値が大阪工大の大きな財産である」と、その先輩諸氏が社会で活躍し、その評価が大阪工大の就職率の高さに寄与しているのです。

当会は、入学時からの入会ができます。会員のメリットを享受できるのには、早いことに越したことはございません。入学時からの入会手続きをお勧めいたします。

上記のような背景のもと「知財会」は会員皆様へ向けて以下のような活動を行っております。

- (1) 知財関係法律の改正や、弁理士、知的財産管理技能検定等に関する「情報提供」
- (2) セミナー・送別謝恩会等の企画&情報提供
- (3) その他、知財会員懇親会の開催など、今年はコロナ克服後に種々計画中です！

特に、注目されるのは、「知財会」は他学科と異なり、入学時からの入会となり、学生向けには

- (4) 国家試験（2級や弁理士短答試験、本試験）在学中合格者への報奨金¥7500の交付
- (5) 卒業アルバム製作・謝恩会支援等を計画しております。

このように入会に見合う在学中の学生支援活動に注力しております。

これらは、「知財会」のホームページ及びメールを通じて会員の皆様にお知らせしております。

新入生の皆様におきましても、在校中から知財会の情報に触れていただき、諸先輩方との懇親会の機会を活用して、有意義な学生生活を過ごされるようご案内致します。

<入会手続きの説明>は本紙裏面に掲載しております。

以上

2020年 9月 12日

大阪工業大学校友会 「知財会」役員リスト

2020-2021年度知財会推薦幹事名簿（大学院卒含む）

No	氏名	摘要（知財会役職）
1	川濱 隆司	会長：本部推薦幹事
2	田村 俊明	副会長：本部推薦幹事
3	藤原 正樹	副会長*本部推薦幹事
4	藤本 知世	会計：本部推薦幹事
5	森岡 昭光	本部推薦幹事
6	細田 芳弘	本部推薦幹事
7	塩崎江利子	監査
8	高岡 健	本部推薦幹事
	土肥 祐治	顧問

※ 注) 2020年度はコロナ禍の影響にて役員会を含めほとんどの活動が出来ない状況でした。従って、2020年度の役員はそのまま2021年度役員への留任とすることに決定いたしました。

【別紙 Ⅰ】

「知財会」運営方針（案）

1. 会員サポート体制の充実を図る。
2. 校友会との連携により、「知財会」の発展を図る。
3. 会員相互の親睦と連携を図る。

2022・2023年度の重点課題

1. 会員サポート体制を充実する。
 - 1) 就職支援活動の充実
 - 2) セミナー資料等のアップロードによる情報提供の推進
 - 3) 現役学生活動（資格取得等）への支援・協力
2. 校友会との連携強化のため、役員会組織を強化する。
 - 1) 役員会の適宜開催
 - 2) 新役員の募集（新執行部選任）
 - 3) 校友会幹部による校友会活動の支援強化
3. 会員相互の親睦と連携を図る。
 - 1) ホームページの充実を図る（タイムリーな内容更新）
 - 2) 懇親会等の積極的開催による会員相互の親睦・連携強化
 - 3) 準会員卒業生への卒業アルバムの制作・提供

以上

【別紙 Ⅰ】

2022-2023 年度の事業計画（案）

1. 当事業計画の目的

今年度の運営方針の重点課題である「会員サポート体制を充実する。」の観点から「知財会」として会員に貢献する事業とは？を模索しその目的として重要な現在学生会員を定着させることに重要視するべきとの結論に達しました。今年度の会員増員計画を満足させる方策として、現役学生に知財会をもっと身近に感じていただくための方策として、下記の4点の新規事業を計画実施していきたい。

2. 2022-2023 年度事業計画

① 就職支援活動の充実

- ・学部から大学院へ進学してきた学生を対象として重点的に取組む。
- ・特に早期進学者のフォローを重点的に支援していく。
- ・今年度はこのための検討チームを設置し、実施展開していく。

② 現役学生活動（資格取得等）への支援・協力

- ・下記の資格試験合格者を対象として、報奨金を交付する。
「知的財産管理技能検定」2級の総合合格者
「弁理士短答式筆記試験」合格者
- ・在学中に合格した学部及び院生で、かつ知財会会員を対象とする。
- ・金額はこの検定費用の1次試験費相当（¥7500）を予定する。
- ・本資格取得の啓蒙とその他就職時の有力な資格等のアドバイスの実施。

③ 「卒業アルバム」製作と謝恩会活性化支援

- ・知財会による「卒業アルバム」の製作及び記念品として配布する。

④ 校友会の拡大に伴う教職員の会員啓蒙活動

- ・工大校友会が工大全学部の教職員を特別会員と認定している。
- ・「知財会」としては既に教員にも特別会員の地位を準備しているが、なかなか参加頂けていない実態を周知し呼び掛け活動を展開する。
- ・これにより、会員数の確保と、学生会員への啓蒙、知財会活動への参加促進に繋げる。

以上